

<p>事業名</p>	<p>23区初！職員の創意工夫による 港区版公共施設将来経費試算ソフトが完成しました</p>		
<p>ここがポイント</p>	<p>◆簡単な入力で高精度な試算をすることができます。 ◆他の自治体での利用も可能です。</p>	<p>事業費</p>	<p>—</p>

(港区版) 公共施設将来経費試算ソフトとは

公共施設における各種改修工事の時期・費用の目安を個別に算出し、公共施設全体にかかる将来の経費を試算するものです。新築工事の情報を入力できる機能や改修工事時期を個別に設定できる機能があり、各年度の財政負担や業務量を考慮した公共施設全体の修繕計画の立案や見直しに活用できます。

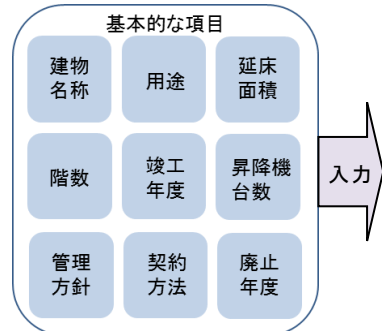
◆特徴

① 簡易な操作性と高精度な試算

各施設の基本的な情報9項目を入力するだけで、今後80年間の経費を試算できます。長年の工事実績に基づく単価や工事分類を設定しているため、高精度な試算が可能です。

港区は区有施設の長寿命化を推進。耐用年数は80年に！

概要



② 汎用性が高く、維持管理費がかからない

職員の創意工夫により、マイクロソフト社の Excel ファイルで作成した計算表です。そのため、簡単に計算方法等を修正できるほか、ソフトを維持するための費用がかかりません。

港区有施設将来経費試算ソフト 2019年度

基本情報入力シート

No.	建物種名称	建物分類	面積	階数	E/V	竣工年	耐用年数	維持管理方針	工事分類	原単価	修正	原単価	修正
1	〇〇小学校	小学校、中学校	5328.24	3	1	1935	耐用年数120	高単価化率	新築・改修	40,000.143		43,980.143	
2	〇〇児童館	高齢者・児童福祉施設	529.35	4	0	1965	耐用年数80	高単価化率	新築・改修	864,394.329		864,394.329	

◆今後の活用

- 施設整備に関する検討や各区有施設の修繕計画の見直しに活用していきます。
- 自治体間連携の一環として、本ソフトを他自治体にも配布していきます。

<p>問合せ</p>	<p>課長 用地・施設活用担当 高澤 ☎ 03-3578-2505 (直通)</p>
<p>係長</p>	<p>公共施設マネジメント担当 松山 ☎ 03-3578-2414 (直通)</p>